

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成22年8月12日 (2010.8.12)

【公開番号】特開2008-30477(P2008-30477A)
 【公開日】平成20年2月14日 (2008.2.14)
 【年通号数】公開・登録公報2008-006
 【出願番号】特願2007-175297(P2007-175297)
 【国際特許分類】

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 29/38 D

G 0 6 F 3/12 K

H 0 4 N 1/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月29日 (2010.6.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

着脱可能なメモリ媒体をセットすることが可能な情報処理装置であって、
外部装置からの前記メモリ媒体に関する問合せに対する応答が不可能な第 1 の省電力状
態と外部装置からの前記メモリ媒体に関する問合せに対する応答が可能であり、前記第 1
の省電力状態より消費電力の大きい第 2 の省電力状態と、を切換える切換え手段と、
外部装置からの前記問合せを検出する検出手段と、
前記問合せに応答するための情報を記憶する記憶手段と、
前記第 1 の省電力状態において前記検出手段により前記問合せが検出されると、前記切
換え手段により前記第 2 の省電力状態に切換えるとともに、前記メモリ媒体へのアクセス
を行わずに前記記憶手段に記憶された情報を外部装置へ通知する通知手段と、を有するこ
とを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記記憶手段は、前記メモリ媒体が前記情報処理装置から着脱された際に当該メモリ媒
体に関する情報を記憶することを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記切換え手段は、さらに前記情報処理装置に装着された前記メモリ媒体へのアクセス
を行う通常電力状態へ切換え可能であることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の情報
処理装置。

【請求項 4】

前記切換え手段は、前記第 2 の省電力状態において、所定期間外部装置からの問合せが
ない場合に、前記第 1 の省電力状態へ切換えることを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれか
1 項に記載の記録装置。

【請求項 5】

着脱可能なメモリ媒体をセットすることが可能であり、外部装置と接続可能な情報処理
装置の制御方法であって、

外部装置からの前記メモリ媒体に関する問合せに対して応答するための情報を、前記情報処理装置の記憶手段に記憶し、

前記情報処理装置が外部装置からの前記問合せに対する応答が不可能な第１の省電力状態であるときに、外部装置からの前記メモリ媒体に関する問合せを検出し、

前記検出に従って、前記情報処理装置を外部装置からの前記メモリ媒体に関する問合せに
応答が可能であり、前記第１の省電力状態より消費電力の大きい第２の省電力状態に切
換えるとともに、前記メモリ媒体へのアクセスを行わずに前記記憶手段に記憶された情報
を外部装置に通知することを特徴とする情報処理装置の制御方法。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】情報処理装置及び情報処理装置の制御方法

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００１】

本発明は、情報処理装置及び情報処理装置の制御方法に関するものである。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１７】

本発明は上記課題に鑑みてなされたもので、制御や装置を複雑にすることなしに外部装置と接続された状態であっても低消費電力状態へ移行でき、消費電力を削減する情報処理装置及び情報処理装置の制御方法を提供することを目的とする。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１８】

上記目的を達成するために本発明の情報処理装置は以下のような構成を備える。即ち、着脱可能なメモリ媒体をセットすることが可能な情報処理装置であって、外部装置からの前記メモリ媒体に関する問合せに対する応答が不可能な第１の省電力状態と外部装置からの前記メモリ媒体に関する問合せに対する応答が可能であり、前記第１の省電力状態より消費電力の大きい第２の省電力状態と、を切換える切換え手段と、外部装置からの前記問合せを検出する検出手段と、前記問合せに
応答するための情報を記憶する記憶手段と、前記第１の省電力状態において前記検出手段により前記問合せが検出されると、前記切換え手段により前記第２の省電力状態に切換えるとともに、前記メモリ媒体へのアクセスを行わずに前記記憶手段に記憶された情報を外部装置へ通知する通知手段と、を有する。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１９

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

以上説明したように本発明によれば、制御を複雑にすることなく、また外部装置と接続された状態でも低消費電力状態へ移行でき、情報処理装置にかかる消費電力を抑制できる効果を有する。